

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成23年5月12日(2011.5.12)

【公開番号】特開2009-262682(P2009-262682A)

【公開日】平成21年11月12日(2009.11.12)

【年通号数】公開・登録公報2009-045

【出願番号】特願2008-112715(P2008-112715)

【国際特許分類】

B 6 0 T 7/06 (2006.01)

B 6 0 T 8/17 (2006.01)

【F I】

B 6 0 T 7/06 E

B 6 0 T 8/17 B

【手続補正書】

【提出日】平成23年3月29日(2011.3.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ペダルストロークに応じてブレーキペダルを押し戻す方向の反力を発生するブレーキバイワイヤ用ストロークシミュレータにおいて、ケーシング内に、その一側から他側へ順に、ダイラタント流体を内包する独立気泡の発泡体と該発泡体を押圧するピストンとを配設し、前記ピストンには、ブレーキペダルから延ばした入力ロッドを作動連結したことを特徴とするストロークシミュレータ。

【請求項2】

前記ピストンと前記入力ロッドとの間には、前記入力ロッドを常時ブレーキペダル方向へ付勢する戻しづねよりもばね定数の大きさが介装されていることを特徴とする請求項1に記載のストロークシミュレータ。

【請求項3】

前記独立気泡の発泡体は、ケーシング内に拡径方向に変形可能な空間を有して配設されていることを特徴とする請求項1または2に記載のストロークシミュレータ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

上記課題を解決するため、本発明は、ケーシング内に、その一側から他側へ順に、ダイラタント流体を内包する独立気泡の発泡体と該発泡体を押圧するピストンとを配設し、前記ピストンには、ブレーキペダルから延ばした入力ロッドを作動連結したことを特徴とする。